2017年　1学期

**現代日本社会の争点（Issues in the Contemporary Japanese Society）**

**ー　日本の家族とジェンダー　ー**

教授 : 韓榮惠

E-mail : [younghae@snu.ac.kr](mailto:younghae@snu.ac.kr)

Office : Room 510, Bldg. 140-1 (Office Hour : 火、木　午後２時〜４時)

Grade :

　　Term Paper 40% / 授業（発表、討論など）30% / 中間レポート 30%

Course Objective :

日本のナショナルアイデンティティ（National Identity）に関する家族・ジェンダーの多様な争点（issue）を調べてみる。日本の家族制度・法や戸籍、ジェンダー・ポリティックス、ジェンダー・バックラッシュなどを主に取り上げる。

Assistant Contact : 安　イェダム　(dannyto@naver.com)

Sechdule :

**Week 1　（3 / 2）**

講義概要説明

**Week 2**　**（3 / 9）**

―「私はこうして女性の権利条項を起草した』ベアテ・シロタ・ゴードン(聞き手＝横田啓子(『世界』1993年6月号)、井上ひさし、樋口陽一(編)『『世界』憲法論文選1946-2005』、岩波書店、2006、pp.37-47

― 進藤久美子　『ジェンダーで読む日本政治―歴史と政策』、有斐閣、2004

第4章　占領期民主化政策とジェンダー

　 1.女性参政権への道程―日本国政府の動き　pp.162－175

　 2.日本国憲法とジェンダー　pp.176－186

**Week 3　（3 / 16）**

― 渡辺洋三　『家族法を見直す』(岩波ブックレットNo.356), 1994

― 二宮周平　『変わる「家族法」』(かもがわブックレット91)、かもがわ出版、1996

**Week 4　（3 /２3）**

― 石井一夫　「「社会の基礎」を再確認」、読売新聞社(編)『憲法改正　読売試案　2004年』、2004，pp.130-141.

― 林　道義　「家庭教育におやの「義務」を盛り込めー「民主的」教育論が子供をダメにするー」，『正論』編集部(編)『『正論』傑作選　憲法の論点』、2004，pp.281-300　(初出『正論』平成16年4月号「騙されるな！『民主的』教育論が子供をダメにする」)

**Week 5　（3 / 30）**

諌山陽太郎　『＜別姓＞から問う＜家族＞』、勁草書房、1997

第1章「別姓」について　–問題の輪郭 pp.1-24

　第2章「別姓」反対論について　–二つの家族主義の論理 pp.25-46

　第3章「姓」について　–同姓強要の論理 pp.47-70

　第4章「一体感」について　−「民法改正」要綱の論理 pp.71-100

　第5章「個人」について　−「消費社会」の論理 pp.101-124

　第6章「寛容」について　−「個人」と「国家」の論理 pp.125-140

**Week 6　（4 / 6）**

― 遠藤正敬　『戸籍と国籍の近現代史』、明石書店、2013

　　第1章　「戸籍とは何かー「日本人」の身分証明」 pp.27-74

　　第2章　「国籍という「国民」の資格ー日本国籍と戸籍の密接性」 pp.75-106

**Week 7　（4 /１3）**

― 遠藤正敬　『戸籍と国籍の近現代史』、明石書店、2013

　　第6章　「戸籍と現実のねじれー開かれた制度となるには」 pp.275-306

**Week 8　（4 /２0）**

中間整理

**Week 9　（4 / 27）**

― 進藤久美子　『ジェンダーで読む日本政治―歴史と政策』、有斐閣、2004

第Ⅱ部　政策―ジェンダー・ポリティックスの展開

　はじめに　ジェンダー共生型社会への扉　pp.200－208

第5章　男女共同参画型社会への道　　pp.209－264

**Week 10　（5 / 4）**

― 進藤久美子　『ジェンダーで読む日本政治―歴史と政策』、有斐閣、2004

第Ⅱ部　政策―ジェンダー・ポリティックスの展開

　第6章　草の根のジェンダー・ポリティックス　pp.265－329

まとめに代えて　　日本型ジェンダー・ポリティックスの発見　pp.330－334

**Week 11　（5 /１1）**

― 石 楿　『ジェンダー・バックラッシュとは何だったのか』インパクト出版会、2016

1. 現代日本社会の「ジェンダー・バックラッシュ」現象　pp.17－53
2. 「バックラッシュ」問題の視点からみる女性政策　pp.54－73

**Week 12　（5 / 18）**

― 石 楿　『ジェンダー・バックラッシュとは何だったのか』インパクト出版会、2016

1. 「ジェンダー・バックラッシュ」勢力の言説とその思想的特性―性と家族・伝統を中心に　pp.156－202

― 伊藤公雄　『「男女共同参画」が問いかけるもの』、インパクト出版会、2009

第2章　「バックラッシュとその周辺」　pp.104-143

第3章　「教育をめぐる論争」　pp.170 – 240

**Week 13　（5 /２5）**

総括討論

**Week 14　（6 / 1）**

期末発表・討論

**Week 15　（6 / 8）**

期末発表・討論